

HPE OneViewについて 知っておくべき7つのポイント

インフラストラクチャを容易に自動化

1

HPE OneViewとは?

ハイブリッドITを簡素化して、コンポーザブルインフラストラクチャへの移行を容易にする**HPE OneView**は、ソフトウェア デファインドのデータセンター（サーバー、ストレージ、ネットワーク構成などがソフトウェアで定義されたインフラストラクチャ）の基礎となる画期的なインフラストラクチャ管理ツールです。HPE OneViewは次の機能を提供します。

- サーバー、ストレージ、ネットワーク構成のプロビジョニング、アップデート、配備を瞬時に行うソフトウェア デファインド インテリジェンス — リソースモデルの設定にはテンプレートが用意されているため、ヒューマンエラーが起きにくい
- 操作性に優れたインターフェース — コンピューティング、ストレージ、ファブリックを一元的に管理
- 最新の標準ベースのAPIとコンポーザブルパートナーエコシステム — 従来のITを効率的に管理しつつ、新しいアプリケーションやサービスのデリバリーを加速させるだけでなく、確かな支援のもと、将来のアーキテクチャに確実に投資することが可能
- CNSAモードのほか、暗号モジュール規格のFIPS 140-2をサポート — 最高度のセキュリティを提供
- ファームウェア、ドライバーの無停止アップデート — ダウンタイムが発生しない、または大幅に削減され、ITの運用が簡素化

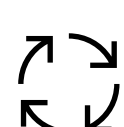
2

主な特長



インフラストラクチャをより速く展開

- インフラストラクチャの起動時間を短縮 — 時間の単位から分の単位へ
- 構成テンプレートを使用した自動化で、大規模なサーバーのプロビジョニングを瞬時に実行 — サーバー1台でも何千台でもかかる手間は同じ クラスタプロファイルを実装 — VMware®を迅速に展開可能
- 業界で採用されている大多数のストレージを瞬時に組み込み — SAN、SDS、DASに対応



ライフサイクル運用の簡素化

- 管理時間を最大**73%**削減し、貴重なリソースを解放する — 構成テンプレートを使用したファームウェアの自動化
- **HPE OneView環境のセキュリティとサイバー攻撃からの保護を強化** — HPE OneViewに組み込まれたスコアベースのアクセス管理と二要素認証、SNMPv3のほか、CNSAモードと暗号モジュール規格のFIPS 140-2のサポートが追加され、最高度のセキュリティを提供
- **HPE OneViewグローバルダッシュボードで全世界、複数のデータセンターの何千ものHPEサーバーの健全性と状態をほぼリアルタイムに監視** — アプライアンス/コンポーザー25台まで、エンクロージャ54台まで、HPE Hyper Converged 380システム150台まで、HPE SimpliVityシステム25台までのデータセンターを単一のビューで管理可能 — HPE Synergy、HPE BladeSystem c-Class、HPE ProLiant DL/MLサーバー、HPE Hyper Converged 380、HPE Apolloシステム、HPE SimpliVity、HPE 3PAR StoreServ、HPE StoreVirtual VSAストレージを統合ビューで管理可能
- **24時間365日体制のHPEインフラストラクチャリモートサポートによる事業継続支援** — モニタリング、障害事前アラート、自動コールロギング、自動パーツディスパッチ、保守を容易にするデバイスレベルでのリモートサポート機能、各デバイスごとの契約/保証内容の表示
- **HPE OneViewリモートサポート** — さらに迅速な問題解決のため、ケースバイケースでHPE OneViewリモートサポートからお客様に、一時的な支援（ライブアシスタンス）としてHPEサービスの技術者の受け入れをお願いする場合があります。お客様の情報は安全に保護されます。
- **充実のHPEプラットフォームサポート** — HPE BladeSystem、HPE 3PAR StoreServストレージサポートに加えて、HPE Superdome X、他のHPE ProLiant ML Gen8、Gen9、Gen10サーバーファミリ、そして、HPE StoreVirtual VSA iSCSIストレージに対する標準モニタリングサポートだけでなく、HPE Apollo 2000、4000、6000、そしてHPE ProLiant ML350 Gen9/10には高度な管理機能を提供
- **HPEサーバーハードウェアを自動的に検出** — わずか数クリックで何百ものサーバーをHPE OneView環境に瞬時に導入し、サーバーのセットアップ時間を劇的に短縮



生産性の向上

- **Unified API** — 開発者、IT管理者/ゼネラリストが、基盤となるハードウェア動作の詳細を知ることなしにインフラストラクチャの展開や更新を自動化できる
- **ソフトウェアのビルド時間を53%削減** — Dockerコンテナホストを使用して74分から34分¹
- **エラーを起こしやすいものを排除** — 何千行にも及ぶコードやカスタムスクリプトは使用せず、わずか数行のコードで実行、時間も節約
- **HPEコンポーザブルパートナープログラム** — VMware、Microsoft®、Chef、Docker、Ansible、Puppetのほか、広範な選択肢の中からパートナーを選ぶことができ、柔軟に組み合わせが可能 ハイブリッドクラウドの管理に、新たにMorpheus Data、CANCOM、InContinuumが加わりました。

3

なぜHPE OneViewなのか?



ソフトウェア デファインド インテリジェンス

サーバー、ストレージ、ファブリックにわたるインフラストラクチャの自動化、ITコストの削減、時間単位から分単位へ、より高速なサーバープロビジョニングを提供



グローバル ダッシュボード

全世界にある複数のデータセンターの何千ものHPEサーバーやストレージの管理に関して、より迅速に意思決定を下せるようにする、ほぼリアルタイムのインテリジェンスを提供



コンポーザブルへの取り組み

の中で実現できる、わずか1行のコードを使用したベアメタルインフラストラクチャのプロビジョニング



シンプルを極めた ライフサイクル運用

ファームウェアとデバイスドライバの更新を構成テンプレートを使用し、自動化でヒューマンエラーのリスクを減少させる。一度作成したテンプレートは繰り返し利用し、わずか数クリックで何百ものサーバーをHPE OneView環境に瞬時に導入して、セットアップ時間を劇的に短縮する



強力なセキュリティ

最高度のセキュリティプロトコルを提供。インフラストラクチャの中核情報をさらに可視化し、システム管理リソースにアクセス権のないユーザーの進入を防止する。



単一のインフラストラクチャ管理ツール

複数のツールを統合して、コンピューティング、サーバー、ファブリックを単一のインフラストラクチャ統合ビューで管理する。

4

マイグレーションパス

HPE OneViewへのマイグレーションは、ツールの統合とサーバー、ストレージ、ネットワーク接続管理の単一インターフェースの提供によって、日々のインフラストラクチャ管理とハードウェアの追従を簡素化します。

HPE 3PAR StoreServ、StoreVirtual VSAストレージのお客様と同じように、HPE BladeSystem c-Class、ProLiant DL/ML、Apolloサーバーは、無償のマイグレーションアシスタントアセスメントツールのほか、HPEマイグレーションサポート、HPE教育サービスを活用してHPE OneViewを展開でき、タイムツーマーケットを短縮できます。HPE Virtual Connectユーザーは、HPE OneViewのダウンタイムなしに、Virtual Connectの機能を活用して高速に移行できます。詳細は、HPEの担当者にお問い合わせください。

HPE OneViewの導入を加速するサービス

- HPE OneViewのスタートアップインストール+構成サービス（固定:U1V78E、フレックス:H6K67A1）には、このソフトウェアの使用法のオリエンテーションセッションがあります。
- HPE OneViewのインストール+HPE BladeSystem c7000マイグレーションサービス（fixed、U1V79E; flex、H6K68A1）には、HPE OneViewの迅速な展開と簡素化とともに、VCEMからHPE OneViewへの移行支援を含みます。
- HPEスタートアップBladeSystem c7000インフラストラクチャサービス（fixed、UE602E; flex、HA114A1#5FY）は、c7000ハードウェアの設置を行い、お客様自身でHPE OneViewをインストールし、構成できるようにするサービスです。
- **HPE教育サービス**
 - HPE OneViewの概要と監視対象としてHPE Synergyを構成する方法（Webベーストレーニング、コース番号 H0LN3AAE）は、2時間のオンラインコースで、使いはじめて当たったのキーンリユーションを実演します。
 - HPE OneViewの管理（コース番号 H4C04S）は、3日間の講師付きコースで、Virtual Connect ネットワーク、ストレージ構成、スクリプト技術、日々の管理の行使、トラブルシューティングを含め、より深いレベルでHPE OneView管理について学びます。このコースはオンサイトで、またはHPEの受賞技術であるVirtual Instructor-Led Trainingを用いたバーチャルクラスで行うこともできます。
 - HPE OneViewエコシステムに対するeラーニングサポートは豊富で、VMware vCenter®やMicrosoft System Center、その他のテクノロジーとの統合方法も学ぶことができます。いずれも自己ペースで進めることができ、短時間のセッションです。

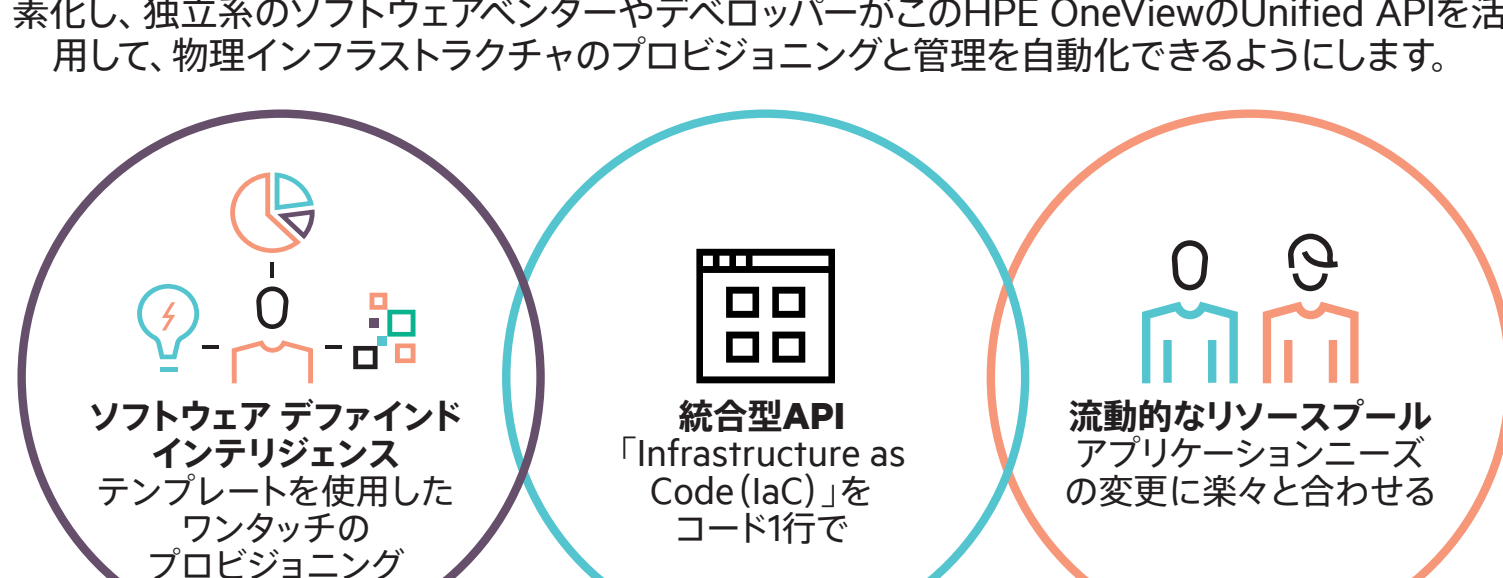
詳細: hpe.com/ww/learnconvergedsystems

5

HPEコンポーザブルインフラストラクチャ

HPE OneViewは既存のハイブリッドインフラストラクチャの管理を簡素化するだけでなく、将来のコンポーザブルインフラストラクチャへのスムーズな移行を保証します。HPE OneViewは、コード1行でインフラストラクチャを構成し、管理するのに必要なソフトウェア デファインド インテリジェンスとUnified APIを提供します。HPE OneViewにより、リソースを最適化して、それらのリソースをビジネス要件に合わせて容易に構成・再構成できるようにします。

HPEコンポーザブルパートナープログラムを通じて、広範なパートナー統合リストによってITを簡素化し、独立系のソフトウェアベンダーやデベロッパーがこのHPE OneViewのUnified APIを活用して、物理インフラストラクチャのプロビジョニングと管理を自動化できるようにします。



6

主な使用例

「私たちのリソースは限られていますが、HudsonAlphaのキャンパスに所属する研究者や教育者、起業家の大きな力になりたいと願っています。私たちはテクノロジーの力を借りて、成し遂げたいと考えています。」

-HudsonAlpha

「Porsche Informatikは、ビジネスクリティカルアプリケーションにおいて24時間365日の高可用性を維持しながら、確実にビジネス目標を達成する必要があります。これらの目標達成を支援するインフラ基盤に選ばれたのが、HPE SynergyとHPE OneViewです。」

-Porsche Informatik

7

HPE OneViewとは?

- hpe.com/info/tryoneview
- hpe.com/info/hpeoneview
- hpe.com/products/ovglobaldashboard
- hpe.com/info/composableprogram

¹ HPE Labs内部試験、2017年4月

© Copyright 2016–2018 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更される場合があります。Hewlett Packard Enterprise製品およびサービスに限り、それに対する保証は当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoftは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標もしくは商標です。VMwareおよびVMware vCenterは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc.の登録商標または商標です。その他のすべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

4AA6-5521JPN, 2018年6月、Rev. 4